



新年号

# すまいる 多摩通信

隔月刊 2025年1月1日 No.005



理事長 穂垣 勝

あけましておめでとうございます。会員の皆様には素晴らしい初春をお迎えのことと、謹んでお喜び申し上げます。

昨年、当センターは、会員数も1500名の大台となり事業の拡大と相まって優秀な新人採用にも恵まれ、人材を成長の原動力と捉え、経営理念と職員の働きがいが結びつくことで、会員の皆様に種々還元できる持続可能な体制づくりを整えることに注力いたしました。更に、今年センター創立45周年を迎えるにあたり、記念事業の実施等により会員一人ひとりの絆を確かなものとするべく記念事業に向けて取り組んでまいります。

今年の干支は「巳」です。脱皮をするへびは「復活と再生」を連想させます。不老長寿や強い生命力により「神の使い」とも言われています。当センターも絶えず「復活と再生」を意識して毎日の業務に励んでいきたいと思っております。

私が新しい年に選んだ一文字は「越」（超える）です。壁を越えていく、今までの自分自身を超越する。前進あるのみ、過去よりもっと前に進む、地域の方々との絆を深め、互いに支え合う関係を築いていきたいと考えています。

最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年

「漢字一文字に寄せて 新年のごあいさつ」



理事長 阿部裕行

あけましておめでとうございます。

多摩市シルバー人材センター会員の皆様にはよき新春を迎えられたことと謹んでお喜び申し上げます。

シルバー人材センターにおかれましては、人口減少、少子高齢化が進行し、高齢者のより一層の活躍が期待されるなか、就業機会と会員の拡大、健幸就業の推進に取り組んでおられることに、また、会員の皆様には、これまでの豊かな経験や知識を活かし、日々の業務を遂行されていることに、深く敬意を表するところでございます。

新しい年に希望を込める一文字は「命」です。貧困と格差、地震や災害、病や感染症、戦争や犯罪など。私たちの一瞬一瞬は生と死との境界線の上で生きています。

昨年、私自身、突然の心疾患で緊急手術を受け、九死に一生を得ることができました。「命」の大切さ、そしてその「命」は救急、医療はじめ多くの人々の支えがあつてこそ、です。動植物も地球も私たちも生かされています。無理せず、身体を労り、自然体で。

貴センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

理事長と名誉理事長の市長に続き、役員からご挨拶いたします。

**専務理事 河内 多華治郎（常勤）**



【永】本年センターは創立45周年を迎えます。組織の永続性に繋がる一文字に期待を込めました。日本では創業千年を超える企業は複数社あり、地域を大切にしながら繋がり続けています。誠実な就業が永遠の成長に繋がる一つの目標になります。

**常務理事 安宅 理（常勤）**



【愛】あけましておめでとうございます。会員の皆さまにとって、これからの1日、1日が愛で始まり、愛で過ごし、愛で満たされ、愛で終わる、健康で幸せに満ちた2025年となりますように心からお祈りいたします。

**理事 伊藤 重夫（非常勤）**



【巳】なんと今年は年男で、しかも還暦！シルバー人材センターへ入会できる年齢でもあります。巳年生まれは執念深いなどと言われこまごまきましたが、よくいえば粘り強いとも思います。今年は、初志貫徹！押しにいきたくありません。赤いちゃんちゃんこ着ます！

**理事 佐藤 康信（非常勤）**



【備】昨年は能登半島地震に始まり、羽田空港での航空機衝突事故、南海トラフ地震臨時情報の発表、各地の豪雨災害、夏場の猛暑と大変な1年でした。いつ我が身に降り懸るかわからない災害や事故に、これまで以上に備えなければいけないの強い思いから選びました。

**理事 上村 真澄（非常勤）**



【健】年々衰える体力、記憶力。人を建てること書いて「健」。人がしっかりと立つということから強い、丈夫となったそうです。これまでの健さに感謝し、これからは、体力作りに気を配りたい。

**理事 高木 かづえ（非常勤）**



【和】（なごみ）この言葉のひびきが好きです。気持ちが和らいで落ち着くとの意味です。何かと忙しいご時世に逆らい家族と、友人と一緒にゆったりとした時間を大切にしたいと思っております。

**理事 奈良 募（非常勤）**



【健】今年の夏は異常気象とやらで水分補給しながらの作業は苦勞が多かった。その影響か、春秋の季節が短縮されたような気がする。まずは、猛暑は御免だ。本年こそは穏やかな年であってほしい。全会員が健康で楽しく活躍できる事を祈っています。

**理事 村越 雅子（非常勤）**



【翔】力強さ、自由、前向きなエネルギーを感じるこの文字を選びました。飛翔という言葉もあり空高く舞い上がり、夢に向かってはばたくイメージ。昨年大活躍し日本中を元気にした大谷翔平選手にあり、皆様も元気で幸福に過ごせますように！

**監事 海野 美恵子（非常勤）**



【健】個人的に節目の年！健康（健幸）な毎日を健やかに過ごせたら嬉しいですね。また、自分をとりまく人との関わりが幸せに繋がっていきま様に、そして、皆様のご健康（健幸）もお祈りいたします。

**監事 井上 勝（非常勤）**



【和】分断、戦争と言言葉が紙面に飛び交います。「和」をもって貴しと為す。「柔和」和（やわらかく、おだやか、のどか）人の和を尊び穏やかを好しとする日本人の心持を回想しつつ、自分のペースを崩さず、和な1年としたいと思います。

## 2月就業公開募集のお知らせ

おしごとを探している方へ

左記日程で、働きたい方を募集している仕事の一覧を閲覧できます。会場にて一覧を確認し、希望する職場があれば申込用紙を記入・提出することで応募ができます。



期間 2月3日（月）2月4日（火）2月5日（水）

時間 9時～16時（12時～13時は除く）場所 シルバー人材センター会議室

おしごと開始までの流れ

- ① 応募する ↓ 書類選考通過後 ② 面談に参加
- ③ 内定後 ④ 現場研修を受ける ↓ 研修終了後
- ⑤ 令和7年4月～就業開始

次回日程 5月1日（木）5月2日（金）5月7日（水）





あけましておめでとうございます。本年も会員の皆様の就業を全力でサポートいたします。事務局スタッフ一同

多摩市をもっと知ろう④

私達が住む多摩ニュータウンは、多種の木々に囲まれ、配置された花壇には四季折々の草花が咲く自然環境のよい街です。そんな見どころのある、お勧め風景スポットをご紹介します。



多摩ニュータウン開発は農村地帯の丘陵を削って造成され、僅かに残っている元々緑地帯だった場所の高低差だけが開発前の地形の記憶として残されています。

今回紹介する永山3-3団地近くにある鉄塔(東京西線ナンバ10号鉄塔)は、地図で見ると多摩市の中心部に位置し、多摩市のオヘソ、しかも出ペソのように出っ張って見えています。周囲の団地群はこの鉄塔を避けるように建っていて、東につながる永山南公園内にある鉄塔まで架線下は緑地帯が続きます。

また、逆側も緑地帯と駐車場になり、鎌倉街道をまたぎ貝取北公園内の鉄塔まで、鉄塔の存在がかつての丘陵地の面影を留めています。

話を戻してこの団地近くで昭和44年6月に多摩ニュータウン開発起工式が行われたそうです。写真も残っていてこの鉄塔が写っています。

当時もここだけは宅地造成されず出っ張ったままで、ぐるり360度開発の様子を見るための最適な場所だったようです。

やはりこの鉄塔は、今も昔も多摩ニュータウン開発の中心部(オヘソ、出ペソ)なのだと思えました。

第3回安全適正委員会

12月10日(火)に第3回安全適正委員会が開催されました。主な内容は以下になります。

- (1) 令和6年度事故状況について
(2) 冬期安全巡回報告について
(3) 植栽における安全対策について
(4) 令和7年度安全就業標語の選定について

9月までは事故件数において前年を下回るペースでしたが、10月にグリーンサービス(植栽)で立て続けに5件の賠償事故(財物)が発生。それを踏まえ安全対策が話し合われました。

放置自転車クリーンキャンペーン

10月22日、24日に多摩市内4駅で、今回で第41回となる恒例の放置自転車防止を呼びかける啓発活動に8名の理事と職員が参加しました。駅周辺の道路環境の浄化と自転車利用者のモラルの向上を図るといふものです。

市職員、各企業、他団体からの参加者と共に、通行中の市民の方々に「自転車の放置防止」や「ヘルメットの着用」等と呼びかけながら、PR用のティッシュ等を配布しました。

フードドライブ活動報告

センターのフードドライブ活動も3年目になりました。昨今の米不足や値上がりで少し心配でしたが、11月1日から14日までの2週間で91点、36.3キログラムの食品をご提供いただきました。

あらゆる物の値段が上がっていき、厳しいご時世にもかかわらず、温かい気持ちで届けてくださるご協力をお願いしました。

寄せられた食品は早速ボランティアセンターに持ち込み、ゆるたまネットに参加する市内およそ40団体から寄せられた食品等と併せて、配布申し込みのあった200を超える世帯に12月中に配布されます。

センター会員の温かい心を届ける活動として、これからも理事全員が一致協力して推進し、継続して行っていく方針です。

シルボンヌ参加レポート

令和6年11月19日(火)に大宮で開催された「シルボンヌ全国大会」に参加してきました。

「シルボンヌ」とはシルバー人材センターで働く女性会員の愛称です。当日は北海道から沖縄まで大勢の元気なシルボンヌが集まり盛大に行われました。

講師にダンサーのSAM氏を迎え「ダレデモダンス」の講演やシルバー人材センターの事例発表などがありました。

いづれの内容も健康寿命を伸ばしシニア女性が元気に活躍するには、運動がとても重要で「自分の体は自分で動かす」を心掛けること、とのことでした。改めて運動の大切さを実感しました。

大会に参加し、大勢活躍されているシルボンヌの存在を知り私も頑張りたいと思いました。

研修大会レポート

11月25日(月)関戸公民館VITAホールにて研修大会を開催し、参加者83名と会場は大いに盛り上がりました。

講師として「榎垣総合法律事務所 榎垣直人様」「西都ヤクルト販売株式会社 池田博様」をお迎えしました。

榎垣様からは「就業におけるコンプライアンスについて」をテーマとし、非常に臨場感ある具休例を交えながら適正・安全就業義務について講義いただきました。

池田様からは「おなかの菌学」をテーマとし、脳の元気が健康な腸内環境に繋がるといった観点から、実際に全員で体を動かしながら学びました。

お二人の講義中には、度々会場から笑いや感嘆の声が上がっており、関心高く学べる時間となりました。

安全衛生委員会からのお知らせ

新型コロナウイルスは、症状が多様になっていて発熱しないケースも増えています。

体調不良を感じる時は無理をせず、必要に応じて医療機関を受診しましょう。10月から令和6年度多摩市高齢者インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の定期予防接種が行われています。詳細は市ホームページ等にてご確認ください。本委員会は8月29日および9月18日にセンター会議室にて開催。

市民向け剪定講座を開催

令和6年11月6日、鶴城西公園みどりの家にて、プロから学ぶ「庭木の剪定」講座を開催しました。

入会促進の一環として、東京しごと財団が主催、当センターも共催して、多摩市在住で60歳以上の方を対象に受講料無料で行いました。

12名の方が参加され、座学と腰道具3点セット(剪定鋏・植木鋏・ノコギリ)を実際に身につけて、鋏の持ち方から始まり、枯れ枝の見極め方、切り方、生垣剪定のやり方など、プロの講師から約二時間、丁寧に教えてもらいました。後日、参加者の中から女性1名が入会されました。

配分金・給与スケジュール

Table with columns for month, request date, and payment date for distribution funds and salaries.

※必着日はセンターに書類が到着すべき日を指します。
※4月以降の日程は<予定>です。ご了承ください。

配分金支払証明書発送のお知らせ

令和6年分の配分金支払証明書を1月下旬に発送いたします。送付対象は、令和6年1月〜12月に請負で就業された方です。所得税の確定申告の際に利用ください。なお、所得の申告制度には確定申告のほか、「市・都民税の申告」があります。確定申告については税務署へ、市・都民税については市役所へお問合せください。